

第8回通常総会・議事録

○日 時 平成 29 年 5 月 30 日（火）AM10：00～11：15

○場 所 千葉市ビジネス支援センター 15F 会議室5

○来 賓 千葉県健康福祉部健康福祉指導課 法人指導班班長 鈴木 佐 氏

○来賓講話 鈴木 佐 氏

昨年度の川崎市や旭市の施設の事件が記憶に新しいが、第三者評価の必要性を改めて感じている。そのためにはもっと PR が必要であると考えている。

① 平成 28 年度の受審件数について

- ・第三者評価受審は 84 事業所（平成 29 年 3 月末現在）であり、受審が一番多いのが保育所、次いで通所介護事業所である。平成 27 年度は 100 事業所を超えていたので減少傾向にある。
- ・地域密着型サービス外部評価は 315 事業所が受審している。

② 事業所アンケートの結果について

- ・評価調査員に対しては良かったという意見が多かった。
- ・肯定的な意見としては「対応が親切、現場を知ってくれている」「客観的な意見をもらって見直すきっかけになった」「職員との対話、意見のすり合わせができて良かった」「職員の意識改革につながった」などであり、9 割近い事業所が良かったと回答している。
- ・評価調査員への希望として「職員のレベル向上のために、評価調査員と職員が話す機会があればと思う」との意見があった。
- ・問題点の指摘としては「少し甘いのではないか」「情報収集は丁寧だが現場を見る時間が少ない」「利用者、家族に第三者評価の認知度が低いのでは」「同じような評価が続いていて新しい指摘がない」などであった。
- ・アンケート用紙の「あなた」という表記が、利用者と家族のどちらを指すのかわからないのでアンケートが書きづらい、という指摘もあった。
- ・評価調査員には今後、評価能力のレベル向上、報告書の表現力向上が望まれる。

③ 今年度の新たな取り組み

- ・先日保育園への説明会に出席し、第三者評価の広報活動をした。
今後も多方面への PR が必要と考えている。
- ・第三者評価パンフレットをわかりやすいものにしたい。
パンフレットを利用者対象と事業所対象にし、それぞれを組み合わせたパンフレットを作成したい。現状のものは第三者評価の利点が一番最後になっていて枠も多い。利点を最初に持ってくるなど、見る側のニーズに沿った内容にすることが望まれる。
- ・外部に向けてどうアピールしていくかが今後の重要な課題である。

○総会の成立

規則第4章第9条にもとづき事務局が会員15機関、出席11機関を報告し、総会の成立を宣言した。

規則 第4章 組織

第9条 総会は、幹事会が開催を決定し、代表幹事がこれを召集する。総会は、会員の過半数（委任状出席を含む）の出席で成立し、出席者の過半数を持って議決を行う。次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。

1. 役員の選任
2. 事業報告、決算の承認
3. 事業計画、予算の決定

○議事

司会が議長に吉谷健二氏を推薦し、出席者全員がこれを承認した。

また、議長が議事録署名人、書記を任命した。

議長：特定非営利活動法人 ヒューマン・ネットワーク 吉谷 健二氏、

議事録署名人：NPO共生 西村 豊氏

議事録署名人：株式会社 アミュレット 畑中 健夫氏

書記：特定非営利活動法人 VAIC コミュニティ研究所 澤村 明子氏

【審議事項】	内 容
第1号議案 平成28年度事業報告	副代表幹事和田俊一氏が報告・提案した。 第一号議案及び第二号議案は満場一致で可決した。
第2号議案 平成28年度収支報告	監事丸尾進三郎氏が報告した。 平成28年度収支報告を満場一致で可決した。
第3号議案 平成29年度事業計画（案）（予算の部分を除く）	幹事後藤康浩氏が提案した。 平成29年度事業計画を満場一致で可決した。
第4号議案 平成29年度収支予算（案）	監事丸尾新三郎氏が提案した。 平成29年度収支予算案を満場一致で可決した。
第5号議案 役員選出（案） の件	幹事佐々部憲子氏が提案した。 9名の継続就任と新たに1名の就任を平成29年度役員として満場一致で可決した。

以上

上記議事録のとおり議事のあったことを証するために、議事録署名人は記名捺印する。

平成29年 6月 8日

議事録署名人 西村 豊



議事録署名人 畑中 健夫

